



## 2004年重要政策実施成果要約

2004年年間報告書では、以下に総合的な成果を列挙する外に、「南風再起—産業と就業人口大幅成長」「科学技術生活城—科学と生活の結合」との二大ポイントに分けて、園区内の産業発展と優れた生活環境を報告していきたい。

### 運営成績のすばらしさ

南科は過去3年間に於いて優れた開発運営成績を残してきており、「南台湾に根ざし、世界を目指す」を目標に深く礎を築いてきた。累計2004年までに許可投資社数157社、許可投資金額は4兆2,086.1億円に達する。営業総額は2000年より常に大幅な上向き成長を見せ、2004年では8,301.8億円に達し、2003より67%も成長し、年間目標である8,000億円を達成している。例年平均的に5,000次回もの就職機会を創出し、2004年は2003年より11,419人も増え、就職者数32,793人に達している、年間目標30,000人を達成している。また、借地契約率でも台南園區一期・二期どちらも安定した増加を見せ、それぞれ95%と100%に達している。高雄園區は2003年年末に比べ29%もの大幅な成長を見せ、62%(借地契約を含む)に達している。

> 歴年主要指標統計表	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年
累計許可社数(社)	44	64	93	127	157
営業高(億円)	791.4	1,606.8	3,299.5	4,969.9	8,301.8
就業人口(人)	6,906	9,467	15,071	21,374	32,793

### オプトエレクトロニクス・集積回路やバイオテクノロジー産業を集約、電信通信産業の加速的発展

国内外における大型及び中小オプトエレクトロニクス専門企業の進出により、南科は我が国でのオプトエレクトロニクス産業の最密集地となり、最も産業形態が完備している園區となっている。台積電(TSMC)と聯電(UMC)の12インチ液晶量産工場が設立されたことにより、南科は12インチ液晶ナノ銅製造技術の最先端を行く科学園區となった。台南園區にはバイオテクノロジー回廊プランが企画され、バイオ專業園區とバイオ産業専門標準工場が建設される。また、中央研究院南部バイオテクノロジー企画センターと国家動物実験センターの園区内駐在をはじめ、高雄園區バイオ医療技術機材産業專業園區・高雄バイオテクノロジー園區計画案などがあり、南科におけるバイオ産業集落は既にその雛形を見せ始めていると言えよう。

通信情報技術センターが2004年5月、率先して高雄園區に駐在し積極的に電信情報システム関連産業の高雄園區入りを呼びかけ、第3の台湾「兆元経済効果」産出産業となるべく目指していく。

### 卓越したサービス、二年間連続満足度評価、第一位取得

2003年国科会所属機関中、「特優」評価を受けて以来、本管理局は2004年度でも再び「三つの躍進」(営業高大幅成長・従業員数倍増・土地借用率迅速上昇)・「二つの革新」(外商チームの成立・公的購買作業委員会の成立協力)・「一つの模範公務員」と「企業満足度調査園區全体比上位維持」等年間主要指標において「特優」の評価を受けている。

> 本管理局会計室殷慧婷専員は2004年度行政院模範公務員として選ばれる(9月17日総統接見)

